

白 建 第 2 8 9 6 号
平成 2 0 年 1 0 月 2 0 日

国土交通省道路局長 殿

白浜町長 立谷 誠一



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平素は、町道路行政に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、上記の件につきまして、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

和歌山県白浜町

道路は、住民生活や社会・経済活動を支える基礎的な社会資本であり、道路の整備促進について住民から強い期待が寄せられている。高齢化、少子化が進展している中、紀南地域の自立的な発展や観光振興、住民の利便性、救急医療など地域の安全・安心を支えるために、高速道路を含む道路整備はより一層重要になっている。

紀伊半島南部に位置し、道路整備が著しく遅れた紀南地域においては、高速道路や主要な幹線道路のネットワーク形成をはじめ防災対策、通学路、救急車の通行可能な道路などの住民の生活に欠かすことのできない道路整備を行っているところである。又、合併に伴い行政区域が大きくなり、一体として発展していくためには、旧町を結ぶ幹線道路の整備が是非とも必要である。橋梁やトンネルなどの道路施設については、老朽化が進み、維持管理の費用が年々増大しており、さらに、東南海、南海地震への備えから耐震補強工事が不可欠である。

高速道路から生活道路に至る、地方が必要とする道路を着実に整備するための道路財源を確保し、紀南地域のような道路整備の遅れた地域への優先配分を強く要望したい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と課題

和歌山県白浜町

○現状

広域交通については、近畿自動車道紀勢線田辺～すさみ間が「新直轄方式」で建設することが決定した。また、白浜ＩＣから南紀白浜空港を結ぶ道路として、白浜空港フラワーライン線が都市計画決定されている。

道路延長については、国道 22.65km、県道104.95km、町道 369.55km、林道 75.00kmとなっている。町内の各地域はこれらの幹線道路と橋梁等で結ばれているが、市街地では、幅員が狭小な区間や歩道が未整備な区間、未改良の主要交差点があり、山間部では、急峻な地形のため、急カーブ等の線形不良箇所が多く、一部車両通行不可能な区間もある。

町が管理している橋梁の総数は 254 本で、内訳は、永久橋 226 本、木橋 24 本、吊り橋等その他混合橋 4 本である。この内、富田川に架かっている橋梁は、永久橋 2 本（1 本は自転車、歩行者専用）、日置川に架かっている橋梁は、永久橋 6 本、吊り橋 3 本である。

○課題

近畿自動車道紀勢線は、紀南地域にとって東南海・南海地震等の災害時に備えた一般国道 42 号の代替道路としての機能を兼ねた最重要路線で、早期の整備、全線開通が待たれる状況である。紀伊半島の海岸沿いを南北に走る一般国道 42 号線は、線形不良区間の解消等直線化の整備を図り、町内外への時間的距離を短縮する必要がある。

さらに、白浜地域と日置川地域を結ぶ一般県道白浜久木線の整備が課題となっている。

在来県道・町道については、拡幅整備や交差点改良、直線化を図り、渋滞の緩和、車両通行可能区間を増加させ、通行の危険な区間について、改良や交通安全施設の充実をはかる必要がある。特に町道空港湯崎線と都市計画道路白浜空港フラワーライン線を直結させるとともに、藤島交差点から町道空港湯崎線に接続する町道藤島湯崎線改良事業（仮称）を推進し、渋滞の緩和と緊急時の避難防災道路の確保が必要である。

今後の道路整備にあたっては、機能性、安全性をはじめ、地域の魅力づくりや景観形成、自然環境への配慮などが求められる。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

和歌山県白浜町

車社会における幹線道路へのアクセスの向上や白浜町内の各地域を結ぶ交通の利便性向上のため、近畿自動車道紀勢線の南紀田辺ＩＣ以南の早期完成、一般国道４２号線、主要県道・一般県道等の幹線道路などの道路網の整備促進に努める。

白浜町の速やかな一体化及び交流促進のため、幹線道路網と生活道路網によるネットワーク型道路網の整備充実に努めるとともに、庄川地区と久木地区（中山間地域）を結ぶ一般県道白浜久木線の実現に向けて強力に取り組みを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

和歌山県白浜町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 県道白浜久木線の整備促進 （中山間地域の活性化）	旧白浜地域と日置川の中山間地域を結ぶ「生活道路」として利便性が高く、移動時間の短縮による定住人口の増加、地域の活性化が期待できる。	
・ 大規模な地震、火災に強い国土づくり等	・ 近畿自動車道紀勢線の早期整備	東南海・南海地震等の災害に強い道路として、又、国道４２号の代替道路として、災害時における救援物資を運ぶ車両や救急車が通行できる道路として期待できる。	
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 町道平才野線改良工事（小山踏切改良）	踏切の幅員を１.７ｍから６.０ｍに拡幅することにより、消防車、救急車の通行が可能となり、又、幼稚園、小中学校の通学路として安全性の向上、付近住民の交通安全及び生活の利便性の向上が期待できる。	